

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年11月15日 (木)

NO. 909号

本号3頁

歌や紙芝居、スピーチでにぎやかに訴える！ 「憲法9条を壊すな！実行委員会」が3000万人署名行動

憲法会議も参加する「憲法9条を壊すな！実行委員会」の3000万人署名行動が、11月13日(火)18時から19時まで、お茶の水駅前で行われました。帰りを急ぐ人々に「安倍9条改憲反対」の3000万人署名と、「辺野古に土砂埋め立てやめろ！」の署名への協力を、歌や紙芝居、スピーチで呼びかけました。行動には、2人のミュージシャンが参加し、沖縄の歌や「イマージン」を歌い、辺野古への新基地建設の中止、安倍9条改憲の阻止を訴えました。また、大きな紙芝居が2回登場し、安倍9条改憲の危険性を分かりやすく伝えていました。さらに、憲法会議など3人がスピーチし、臨時国会での憲法審査会開催を許さないこと、自民党憲法改正案の「提示」を許さないことの重要性を訴え、二つの署名への協力を呼びかけました。



呼びかけに「なんですか」と署名に興味を示した青年に、「9条を知っている？学校で勉強した？」と話すと、「知ってますよ」と。さらに、安倍9条改憲の危険性を伝え、「いざ戦争になったら、戦場に行くのは、君たち青年だよ」と語ると、「わかりました」と署名し、最後には握手をしました。中には、3000万人署名だけ、逆に辺野古埋め立て中止署名だけの人もいましたが、ほとんどの方が両方に署名しました。

この日も、3000万人署名55人、辺野古土砂署名33人と、夏の時期と比べて多くの署名が集まり、国民の中に辺野古新基地建設や安倍9条改憲の関心が広がり、それらの問題が伝わって来ていると実感する署名行動となりました。

下村自民党憲法改正推進本部長

「改憲で議論せずは職場放棄」と野党を批判

自民党の下村博文憲法改正推進本部長は9日、TBSのCS番組収録で、憲法改正に関し「平場で率直に議論さえしなかったとしたら、国会議員として職場放棄だ」と述べ、衆院憲法審査会の開催要求に応じない野党を批判しました。

今国会では憲法審査会の開催が決まっていないなか、下村氏は「野党は自民党(の改憲条文)案を無視して独自の考え方を発表してもいい」とも語り、憲法審での自由討議を野党に呼びかけました。また、国民民主党がまとめた憲法改正に関する国民投票のCM規制を強化する案については「ニュートラルに対応していきたい」と述べ、議論には応じる考えを示唆しました。

また、「安倍色を払拭する」ためでしょうか、自衛隊の存在明記など4項目の自民党改憲条文案については「安倍晋



三首相の考え方と必ずしも一致しているわけではない」と説明し、自民党主導で改憲議論を進める構えを強調しました。

日本共産党小池氏「とんでもない言いがかり」と「職場放棄」発言を批判

日本共産党の小池晃書記局長は12日、国会内で記者会見し、下村氏の「国会議員として職場放棄」と述べたことについて、「とんでもない言い掛かりだ」と批判しました。

小池氏は「憲法を守り生かすのが国会議員の責務であって、われわれはその仕事に全力をあげている。職場放棄と言われる筋合いは全くない」と述べ、憲法を守らず、違憲の法案を強行し、改憲の旗を振る安倍政権の姿勢こそ「究極の職場放棄ではないか」と強調しました。

さらに、下村氏が加計学園側から支払われたパーティー券代200万円を政治資金収支報告書に記載しなかったとされる問題に言及し、「いまだに説明していない。そんな下村さんに職場放棄と言われるのは片腹痛い」と述べました。

与野党から下村発言に批判の声 「かえって憲法の議論が遠のいた」

国民民主党の玉木代表は10日、下村氏の発言について、「円満な環境づくりに貢献するとは思えない言葉だ。かえって憲法の議論が遠のいたのではないかと反発しました。香川県さぬき市で記者団に語りました。また、公明党の山口那津男代表は13日の記者会見で、下村氏の発言に関し「よろしくない発言だ。相手を非難して、かえって議論が進まないような状況をつくってしまうのではないかと懸念すら覚える」と語りました。さらに、自民党の二階幹事長は12日、「本人の責任において何をおっしゃっても結構だが、野党にモノを言う場合は慎重の上にも慎重であってほしい」と記者会見で「苦々しい表情」（読売）を見せました。そして、立憲民主党の枝野代表は11日、「妄言の一種だ」とバツサリ切り捨てています。

下村氏 内定していた衆院憲法審査会の幹事を辞退へ

このような批判が噴出する中、下村氏は憲法審査会の日程や議題を決める役割を担う幹事の辞退を申し出ました。自民党内では、後任に通常国会まで与党筆頭幹事だった中谷元氏を推す声が上がっているようです。下村氏や新藤筆頭幹事の「強行改憲シフト」では「まずいかな」と思ったのでしょうか、若干修正して対応する動きのようです。

15日の衆院憲法審査会は見送り！

自民党の二階俊博、公明党の斉藤鉄夫両幹事長は14日、会談し、衆院憲法審査会を早期に開き、国民投票法改正案を今国会で確実に成立させる方針を重ねて確認しました。憲法審は与野党の協議が難航し、今国会初となる可能性があった15日の開催は見送られます。両幹事長は、衆参両院の各委員会が質疑を始めている状況を踏まえ、憲法審も議論を始めるべきだとの認識で一致し、同席した自民党の森山裕国対委員長は会談後、記者団に「まず新幹事の選任を急がなければいけない」と述べ、早期開催を求めました。

各地のとくくみ

秋田 「9の日」行動 3000万人署名・核兵器廃絶・アショア配備反対

秋田県憲法センターと新日本婦人の会秋田支部は9日、秋田市のJR秋田駅前「9の日」宣伝・署名を行いました。時おり雨の降るなか、通行人の人たちにビラなどを手渡し、3000万人署名への協力と、核兵器廃絶、陸上イージス配備反対をそれぞれ訴えました。

ビラを受け取った80代の男性は「ウソ、ごまかし、ねつ造、強引なやり方を繰り返す安倍首相のやり方には頭にくる。『9条を変える』なんて冗談じゃない。今すぐ辞めさせないとダメ、このままでは戦前ようになってしまう」と怒りました。そのうえで、「日本再び戦争する国にするわけにいかない。何としても安倍政権を倒すために、野党もしっかり共闘して頑張ってもらいたい」と期待を語りました。

北海道 署名数が72万人をこえたとの報告

安倍政権退陣、憲法9条改悪阻止、3000万人署名達成をと、北海道憲法共同センターは5日夜、学習交流集會を札幌市内で開催しました。現在、署名数が72万人をこえたとの報告がありました。

自由法曹団の渡辺達生弁護士は「3000万人署名を大きくひろげることが改憲阻止、安倍政権を退陣に追い込む力になります」と開会あいさつ。新日本婦人の会道本部、北商連などの代表が報告し

ました。全国革新懇代表世話人の五十嵐仁法政大学名誉教授が講演。「安倍政権が狙う改憲は断固として阻止しなければならない」と強調。「常識的に考えれば臨時国会での改憲発議は難しいが、常識が通用しなのが安倍首相。市民と野党が徹底して安倍内閣を追及し、付け入るすきを与えないたたかいが必要だ」と力を込めました。「署名をやりきり参院選で与野党逆転を」と訴える五十嵐氏、道理を尽くし、本気で共闘すれば勝利できるとしたのが県知事選をはじめとした沖縄のたたかいの教訓と強調し、「改憲阻止で野党がまとまれば参院選で勝利できます。市民の側から共闘せよと各野党に圧力をかけることが大事で、改憲発議をさせないため、さらに署名を集め、宣伝・学習を強めよう」と呼びかけました。

滋賀 神戸学院大学の上脇博之教授を迎え、学習会開催

憲法を守る滋賀共同センターは5日、神戸学院大学の上脇博之教授を講師に迎えた学習会を大津市で開きました。玉木昌美代表は「3000万人署名をさらに展開し、安倍首相による改憲発議を許さない世論を圧倒的にしていくことがいま強く求められている」とあいさつ。

上脇氏は、マスコミの世論調査で安倍首相が自民党の憲法「改正」案を臨時国会に提出することを表明したことについて、自民党支持層の約3割が反対と答えたことを紹介。安倍改憲阻止の運動で留意する必要性を指摘するとともに、「支持者でさえも説得できていないことを考えればいかにひどい改憲案か」と述べました。

さらに、安倍「改憲4項目」（自衛隊の明記、教育の無償化・充実強化、緊急事態対応、参議院の合区解消）に込められた危険な狙いを詳しく説明した上で、「戦争できる憲法に変える」ことだと指摘しました。「私たちは、それを多くの人に知っていただく必要がある」と、対話による署名の重要性を強調しました。

新潟 250人で「安倍9条改憲NO！長岡総行動」の集会とパレード

長岡市で11日、「市民アクション@長岡」が、「安倍9条改憲NO！長岡総行動」の集会とパレードを行い、250人が参加しました。日本共産党から藤野保史衆院議員が参加しました。

ドキュメンタリー映画監督の小林茂氏が主催者あいさつで、弱者が犠牲になるのが戦争だと強調し、「安倍政権の『戦争する国づくり』を許さないたたかいを広げよう」と訴えました。

藤野議員は、安倍首相が臨時国会冒頭で行った「改憲呼びかけ」発言と、自衛隊向けに訓示した「任務全うのための環境整備」発言を強く批判。常軌を逸したこれらの発言は、9条改憲反対の世論の高まりに対する首相の焦りの表れであると強調し、「安倍改憲を追い詰めるたたかいをさらに強めよう」と訴えました。



集会では長部登県議（社民党）があいさつ。森ゆうこ参院議員（自由党）からメッセージが寄せられました。集会後にパレードを行い、市民にアピールしました。

安倍9条改憲 NO！

辺野古新基地建設は断念を！

安倍政権退陣！

11.19 国会議員会館前行動

11月19日 月 18:30～第2議員会館前を中心に

19
日行動

主催：安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会